



自ら取り組む意欲、その過程を大切に

園長 米澤 千秋

今年も厳しい暑さが続き、地震や台風などへの備えにも心を配る夏となりました。ご家庭ではどのような夏をお過ごしになったのでしょうか。子どもたちからは「あと〇回寝たら、飛行機に乗っておでかけするんだ」「おばあちゃんのおうちにお泊りしておいしいご飯を食べたよ」などと、夏休み中に楽しみにしていること、また楽しかった経験を嬉しそうに話す声が聞かれました。園では、熱中症警戒アラートに気を付けながら、



預かり保育の子どもたちが大型テントの下でプールに入ったり、水鉄砲や水車などの遊具を使って水遊びをしたりして、楽しみました。そして今年の夏はオリンピックが開催され、テレビで観戦したご家庭も多いのではないのでしょうか。先日始まったパラリンピックでも、熱戦が繰り広げられています。最後まで諦めず、戦い抜く選手の姿には、心打たれます。園でもオリンピック・パラリンピックに関する話題を発信したり、刺激を遊びに取り入れたりして、様々なスポーツや世界の国に関心をもったり、フェアプレイやチームワークの大切さを感じたりする機会になるようにしていきます。

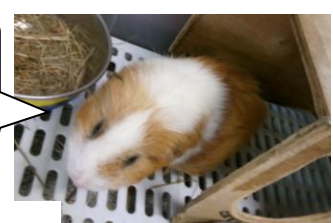
まだ暑い日が続いていますが、9月から10月にかけて次第に吹く風が変わり、体を動かす心地よさを感じられる季節に向かいます。園庭やホールだけでなく、青柳小学校の校庭や体育館もお借りしながら、体を動かすことを楽しむ経験ができるようにしていきます。

1学期に保護者の皆様にご参加いただきました「コーディネーショントレーニング」の講演会と実技の中で、講師の小田先生が次のようなこととお話されていました。「運動の形や到達度(出来栄)が重要ではなく、動いて考えて、考えて動いているか。自ら取り組もうとしているかが大切です」と。そして、オリンピックの新競技ブレイキンで金メダルを獲得した湯浅亜美選手は、「目の前のことに自分らしく全力で挑む。勝つために全力でやっているけど、勝つだけが全てじゃない。意識していることは“コンプリートすること”つまりやりきることです」とお話されていました。どちらの言葉からも“自ら取り組む意欲や、取り組みの過程が大切である”ということが読み取れます。これらは日々の保育の中で大切にしていることに通じるものがあります。幼児期に、意欲をもっていろいろなことに取り組み、やり遂げる経験を重ねることが、就学以降にも大切になる“学びに向かう力”につながります。

10月中旬に行う運動会に向けても、幼児一人一人が楽しみながら進んで遊びや活動に取り組み、自分の力をしっかり発揮できるように援助していきます。保護者の方と共に、一人ひとりの取り組みの過程に目を向け、子どもたちの自ら取り組む意欲を育てていきたいと思えます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



お泊りさせて
くれたおともだち
ありがとう♪



ぶりん かめっぴー かめきんぐ も元気に夏を過ごせました。